



2021

**JJA
JEWELLERY
DESIGN
AWARDS**



会期/会場

2021年11月24日～11月26日

ジャパンジュエリーフェア2021 (JJF2021)
アイメッセ山梨 アワード入賞作品展示会場
[展示作品] 全入賞作品

2021年12月2日～12月20日

山梨ジュエリーミュージアム 企画展示室
[展示作品] 全入賞作品

主催

一般社団法人 日本ジュエリー協会

後援

経済産業省
厚生労働省
東京都
山梨県
台東区
日本貿易振興機構(ジェトロ)
日本商工会議所
読売新聞社

協賛

公益社団法人 日本ジュエリーデザイナー協会
一般社団法人 日本真珠振興会
プラチナ・ギルド・インターナショナル株式会社

日本のジュエリーの可能性を求めて

JJAジュエリーデザインアワード2021

JJAジュエリーデザインアワードは、日本のジュエリー業界における最も権威あるコンペティションとして、グランプリ・内閣総理大臣賞を筆頭に、クリエイターおよびクラフトマンの才能を国内外へと発信していく場です。

美しい文化と伝統を背景に、高い技術力とデザイン力を誇る我が国で、芸術性の高い優れたジュエリーを提案し続けていかなければなりません。

本アワードは二部門で構成されており、第1部門「プロフェッショナル部門」ではデザイン・技術・品質を兼ね備え、創造性豊かな芸術性・ファッション性の高いジュエリーとし、第2部門「新人部門」では、新人・学生を対象に新人らしいフレッシュな感性より創造された芸術性・ファッション性の高いジュエリーであるかを審査の基準としています。

本アワードは、未来のジュエリー業界を牽引する新しい可能性を持つクリエイターの憧れの舞台として、日本のジュエリーの可能性を求め続けます。

今年度はジャパンジュエリーフェアで入賞作品を展示し、グランプリ・準グランプリ受賞作品を『VOGUE JAPAN』誌面タイアップ記事（8月27日（金）発売10月号・2ページ）・Web（9月1日（水）10:00～9月15日（水）9:59）に掲載いたします。

ご挨拶



一般社団法人
日本ジュエリー協会 会長
小山 藤太
Koyama Tota

一般社団法人日本ジュエリー協会は、日本のジュエリーの発展とクリエイターの才能を国内外に発信することを目的に「JJAジュエリーデザインワード」を実施しております。このアワードは当初（第1回1989年）より数えますと第24回となり極めて歴史あるコンペティションです。

今年度も内閣総理大臣・ジュエリー議員連盟・経済産業省・厚生労働省・東京都・山梨県・台東区・日本貿易振興機構・日本商工会議所・読売新聞社と多方面からのご支援をいただきました。

本アワードは、美しい文化と伝統を背景に、高い技術力を誇る我が国で、芸術性の高い優れたジュエリーを発信する場であり、将来の業界を担う新人発掘の場でもあります。

今年度も第1部門「プロフェッショナル部門」、第2部門「新人部門」の2つの対象部門と致しましたが、全国から193点108作品と多くの応募をいただきました。第1部門においては、大きさや豪華さにとらわれないよう、今年度より「ハイエンド・ラグジュアリー」「アクセシブル・ラグジュアリー」の2つのテーマを設定したことも応募数の増加に寄与しています。この作品の中から、各審査員の厳しい審査のもと「グランプリ・内閣総理大臣賞」「準グランプリ・経済産業大臣賞」「準グランプリ・厚生労働大臣賞」「東京都知事賞」「山梨県知事賞」「台東区長賞」「日本商工会議所会頭賞」「新人大賞」をはじめとした各賞が選ばれました。

今年度も、技術力の高さはもちろんのこと、斬新な表現の作品も多く出品されました。これまで同様、各方面でご活躍の方々へ作品審査をお願いしたことに加え、今回はゲスト審査員として『VOGUE JAPAN』編集部の方々にも参加していただきました。それぞれの視点で「ファッションとしてのジュエリー」「時代を反映したジュエリー」「身に着ける人を高揚させるジュエリー」など、高度なレベルで真摯に審査いただき深く感謝しております。

一般社団法人日本ジュエリー協会は、これからも時流の変化に即応したジュエリーコンテストの在り方を見直し、日本における最高峰のジュエリーコンテストとして、デザインアワードのさらなる発展を目指してまいります。

審査員 講評



東京藝術大学 名誉教授
山梨県立宝石美術専門学校 校長
飯野 一郎

lino ichiro

昨年から第1部門がテーマA想定上代金額150万円を超えるもの、テーマB150万円以下の作品が対象となり出品者には明快な条件となりました。昨年はコロナでやむ無く中止となりましたが今年は開催に至りました。コロナ禍、地金高騰等の諸事情で出品数はどうかと心配していましたが前回を大きく上回る応募があり、新たな作風の作品も数多く見られました。グランプリを受賞したネックレスは2種類の地金のストライプを基調とし縦のラインで首まわりを演出した品格のある作品です。

新人大賞は線の流れが美しいピアスで異素材との組み合わせで見事にまとめています。又、ジュエリー議員連盟賞は生命の根源を水晶と銀で表し、その上にリングを被せた今までに無い表現で注目を浴びました。

今回の受賞作は新たな展開が見られ好ましく感じています。新鮮な驚きと魅力溢れる作品がこのアワードから発信されることを切に期待しています。



『VOGUE JAPAN』
編集部

今回の審査会が初めての参加となりました。私たちが編集する『ヴォーグ ジャパン』では、ファッションと同じくジュエリーも重要なジャンルとして、コンスタントに特集を企画し、ニュースを発信しております。しかしながら、私自身がジュエリーの専門家ではありませんので、審査の基準は、以下の2点を考慮することとしました。ひとつは「パリやNYなど海外でのパーティーでも、身につけたそのジュエリーが注目され、話題的となること」。もうひとつは「最新モードに合わせたとき、より女性を魅力的に見せること」。新人大賞受賞作品を今回のゲスト審査員賞に選定させていただいたのは、そのふたつの条件を満たす、モダンで完成度の高い作品であったからです。今まさに世界のファッションistaの間でトレンドとなっている、繊細でありながら存在感のあるイヤリングは、その個性的な造形と洗練された仕上げの美しさによって、最新モードにぴったりのスタイルをイメージさせるものでした。また、グランプリ・内閣総理大臣賞受賞作品は、大胆なデザインの中に、凝ったディテールと、表情豊かなタッチが刻まれた日本的な美意識と技に驚きを感じました。クチュールドレスに合わせても負けない華やかな存在感で、きっとパーティーでの会話が大いに弾むにちがいない、と想像が膨らみました。私たちは、インターナショナルなファッション誌の視点から、日本のジュエリーデザイナーがその特性や文化を活かし、今後さらに精力的に海外に進出し、活躍することを期待しています。

(編集長 渡辺三津子)



モデル
ジュエリーコーディネーター
アン ミカ
Ahn Mika

未来のジュエリー業界を牽引する、新しい可能性を持つクリエイターさんを偉大な先生方と選ばせて頂く機会を頂き、とても光栄な時間でした。

一目見て心躍るもの、次にテーマをじっくり拝読させて頂き感じるもの、そして自分が身につけて体に馴染み、シーンが想像できるかを基準に選ばせて頂きました。

購入させて頂きたいものが幾つもあり、身につけた自分を想像し、エキサイティングしながらの審査は楽しくてあっという間の時間を感じました。

世のジュエリーを身につける方々の心を躍らせ、輝かせるジュエリーを作るクリエイターが、ここから生まれ、世に羽ばたくことを楽しみにしています。



メイクアップアーティスト
遠藤波津子グループ 常務取締役
遠藤 晶子
Endo Akiko

「JJAジュエリーデザインアワード」の審査に初めて参加させていただきました。このような機会をいただきまして、大変光栄に思っております。今回は作品数が多いということで、とても見応えがありました。

プロフェッショナル部門のテーマAは美しく安定感がある作品が多くありました。中でも選ばれたものは大変バランスが良く、ジュエリーを装着しているイメージがすぐにわかりました。テーマBはコンセプトやイメージも幅が広く、選考が難しく悩みました。新人部門は今後の活動が楽しみな方が多く、中でも特に光るものは審査員の意見が一致していました。

私もメイクアップやウエディングドレス、着物のデザインに携わるクリエイターとして、皆様の作品に大変刺激されました。今年はグランプリと準グランプリ作品は『VOGUE JAPAN』に掲載されるので、更に多くの注目が集まるのではと思います。今回受賞された方、エントリーされた方が今後国内だけでなく海外でもご活躍されることを願っております。

審査員 講評



文化学園大学
造形学部 教授

押山 元子

Oshiyama Motoko

会場は全体に小ぶりな作品が多い印象でしたが、熟練した技能と、フレッシュな感性の作品で満ちていました。両部門ともに審査基準と細部を確認し審査をいたしました。第1部門Aから上位受賞候補となった作品は、コンセプトに沿った素材の卓越した扱い、デザインのバランス感覚が優れており、最終審査では実際に装着し様々な角度から確認して決定いたしました。特に内閣総理大臣賞は、金属と宝石のバランス、全体のリズムカルな流れに気品と心地良さを感じられる作品です。Bはテーマに相応しいデザイン性の高い作品が多く、両知事賞はファッション性に優れている作品です。第2部門の作品は、フレッシュな視点での提案が多く見られました。新人大賞の作品は、軽やかな美しい流れを作り出すバランス感覚と装着性の魅力が多くのご支持を得ました。今回は3DCADを使用した表現や今の思いが伝わる作品が印象的でした。更なるインパクトを与える作品の出品を期待します。



水野学園 教育部長

酒匂 博

Sako Hiroshi

今回、初めて審査員の大役を拝命いたしました。審査に先立ち、改めて応募要項を読み直し、JJAジュエリーデザインアワードの定める基準を自身で解釈しながら審査に臨みました。応募要項には第1、第2部門とも芸術性・ファッション性を審査の共通基準にされています。芸術性といっても多義的で、一概に一つの基準を設けることは難しいのですが、私自身はそれを作者の世界観と捉え、特に作品のコンセプトでその点を評価させていただきました。どれだけそのアイデアに想いがあるのか、また真摯な視点がそこにあるのかを読ませていただきました。部門の別なく、そこに説得力のある応募作品は実作の完成度も高かったようです。また、ファッション性は現代性と捉えましたが、その点においては技術力の高いプロフェッショナル部門に応募された方々の多くが、コロナの社会的な影響について非常に敏感に反応されていたのが印象的でした。



諏訪貿易株式会社 会長
諏訪 恭一
Suwa Yasukazu

コンテスト審査のときはいつも、初めて見たときは曖昧だったものが、何回か見ると明確になってくると感じます。三つのカテゴリーに分かれている今回も、繰り返し拝見することで各々の部門内で作品の個性の違いがはっきりし、採点に至りました。ほかの審査員の方の中にも、同じように感じ判定される方がいらっしゃるでしょう。人は、構想と仕立ての良いものは、概ねぶれることなく判断することができるのだと思います。

今回印象に残ったことは、応募数約100の中に、モルガナイトのカット石、シェル（マザー・オブ・パール）のカットとカボション石、カイヤナイトのカボション等が使われていたことです。また、ユニークなものとしては、水晶の結晶とリングの形状に研磨した水晶にリングを載せた入賞作品があり、「宝石は地球が生み出すもの」であることをダイレクトに表現されていました。ジュエリーの多様性が花開く未来が感じられました。



ジュエリークラフトマン
卓越した技能者（現代の名工）
土屋 昌明
Tsuchiya Masaaki

前回に引き続き二回目の審査員を務めさせていただきました。

審査会場に入り全体を見回した時、前回より多い作品と会場の空気に緊張感を持ちました。

プロフェッショナルの第1部門で目に留まった作品の中でもグランプリを受賞した作品は地金の色調を抑えながらもそれぞれのパーツを反らせることで三種類の地金を持つ個性を生かしておしゃれな雰囲気を見事に表現できていると感じました。

他の作品につきましても芸術性、ファッション性をはじめ、クラフトマンの目線でテクニックの部分を見ますと作品に対する作り手の熱量、心意気が伝わる完成度の高い作品が多く目に留まりました。

新人部門では、ジュエリーデザインの新しい領域としての可能性を感じる作品が数点あり、今後のジュエリー業界に新しい風が吹くような発想が更に出てくることを大いに期待しております。

審査員 講評



ジュエリーデザイナー
山本 朱美
Yamamoto Akemi

リニューアルされた2年ぶりのアワードで、どのような作品が出品されるか楽しみにしておりました。結果、コロナ禍の厳しい状況下でありながら優れた作品を目にすることが出来たのは嬉しい限りでした。

プロフェッショナル部門の上位は甲乙つけがたく悩むほどでしたが、デザインのインパクト、技術の素晴らしさと総合的に納得のグランプリ受賞と思います。

新人部門の上位では、着想の面白さと独創性ある作品が印象的で、入選の中でも作品から伝わるメッセージと意気込みを感じたレベル高い作品もありました。

今回、充実した作品を通して楽しさを感じた有意義な審査会で、私自身も同じクリエイターとして刺激を受けました。

今後もクリエイター・クラフトマンが可能性を託せるアワードであり、より魅力的な作品の数々が出品されることを期待したいと思います。

審査員一覧 (敬称略)

審査員長	飯野 一郎	東京藝術大学 名誉教授 / 山梨県立宝石美術専門学校 校長
ゲスト審査員	『VOGUE JAPAN』編集部	
審査員	アン ミカ	モデル/ジュエリーコーディネーター
審査員	遠藤 晶子	メイクアップアーティスト/遠藤波津子グループ 常務取締役
審査員	押山 元子	文化学園大学 造形学部 教授
審査員	酒匂 博	水野学園 教育部長
審査員	諏訪 恭一	諏訪貿易株式会社 会長
審査員	土屋 昌明	ジュエリークラフトマン 卓越した技能者 (現代の名工)
審査員	山本 朱美	ジュエリーデザイナー
特別賞選定員	柏倉 主和	公益社団法人 日本ジュエリーデザイナー協会 会長
特別賞選定員	金子 康男	一般社団法人 日本真珠振興会 理事
特別賞選定員	ハンキンソン 尚子	プラチナ・ギルド・インターナショナル株式会社 代表取締役社長

応募作品・点数

第1部門	「プロフェッショナル部門」		
		テーマA	20作品 31点
		テーマB	28作品 42点
第2部門	「新人部門」	60作品	120点
合計		108作品	193点
入賞作品		23作品	62点

*作品詳細の見方…アイテム／素材(品位)／主要石／補助石

グランプリ・内閣総理大臣賞
準グランプリ・経済産業大臣賞
準グランプリ・厚生労働大臣賞
東京都知事賞
山梨県知事賞
台東区長賞
日本商工会議所会頭賞



ネックレス/Pt900・K18WG・K18/ダイヤモンド

グランプリ・内閣総理大臣賞

Grand Prize and Prime Minister's Award

「Twinkle ～星影の記憶～」

[製作者] 上久保 泰志 [応募者] 株式会社 いのうえ



デザイナー

上久保 泰志

Kamikubo Hiroshi

[E-mail]

inoue.jewelry@gmail.com

子供の頃に見た流星群の記憶。プラチナとホワイトゴールドで構成した淡いストライプの木目金は、流星が過ぎ去ってゆく余韻と次の瞬間に降り注ぐ期待を表現。僅かに揺れる金の輪は空の彼方で輝く星を想わせませす。二段構成の曲線は、様々な輝きの表情を見せ、首に添う角度と重心で着け心地も軽やかになるよう工夫をしました。

1990年 福岡生まれ

2013年 九州産業大学 芸術学部 卒業

2019年 一級貴金属装身具製作技能士 取得



バンダラ/Pt900/ダイヤモンド

準グランプリ・経済産業大臣賞

Semi-Grand Prize and Economy, Trade and Industry Minister's Award

「反骨心のあるエレガンス」

【製作者】宮田 悠貴・原田 雅洋 【応募者】株式会社 桑山



デザイナー

松澤 芽衣

Matsuzawa Mei

[E-mail]

m-uemura@kuwayama.co.jp

パンデミック以来、当たり前が崩壊し本質に目を向けたいと思うようになった。オートクチュールのように丁寧に描き上げたデザインを敢えて引き裂いてみる。瀬戸際でほどけていないその様子は繊細さと同時に強さを際立たせ、相反する要素の共存に完璧に作り上げたものを超える美を感じ、表現してみたいと思った。

1989年 福岡県北九州市生まれ

2008年 私立西南女学院高等学校 卒業

2013年 私立女子美術大学 卒業

2013年 株式会社桑山 入社



ネックレス・イヤリングセット/K18PG/ダイヤモンド/シロチョウ貝

準グランプリ・厚生労働大臣賞

Semi-Grand Prize and Health, Labour and Welfare Minister's Award

「Diamond Necklace&Earrings ~zenshin~」

[製作者] 株式会社 今与 アトリエ室 [応募者] 株式会社 今与



デザイナー

沢村 つか沙

Sawamura Tsukasa

[E-mail]

t-sawamura@imayo.co.jp

そう、前を向いて

壁を乗り越えた時こそ成長するなら、今世界は強くなれる時。この優しくも強い美しさに心が動き、希望というエネルギーが灯りますよう、真っ直ぐ前を見て進む心が持てるよう。

廻る車輪の線に光る技。揺れる煌きは流れゆく河。御所車がその水に潤わされるよう、互いが支え合う理想的な関係を象徴しています。

立命館大学 法学部 卒業

2001年 Goldsmith&Craftsmanship award UK 推薦賞

2007年 英国宝石学協会 FGAディプロマ 取得

2012年 ワールドジュエリーデザインアワード2011 大賞、優秀賞

2016年 JJAジュエリーデザインアワード 東京都知事賞

2018年 JJAジュエリーデザインアワード 厚生労働大臣賞／技術賞



リング/K18YG・Pt900/ブルーサファイア/ダイヤモンド・ブルーサファイア

東京都知事賞

Governor of Tokyo Award

「雪解富士」

[製作者] ToCrafT 瀧口 智紀 [応募者] 株式会社 安心堂



デザイナー

チン ユファン

Chen Yupan

[E-mail]

info@anshindo-grp.co.jp

富士山は日本人にとって特別な象徴だと思います。

今、私はこの特別な山をいつでも眺められる場所にいます。冬、富士山の山頂が真っ白に光輝いて雪化粧し、夏になり雪が溶け流れて町と人々を潤していく、そんな情景をイメージしました。

水や空気は風に運ばれて再び雪となり、山頂へ還ってゆきます。

富士山が描き出すこの自然循環を螺旋で、また、山頂から雪水が流れていく様をダイヤモンドとブルーサファイアのグラデーションで表現しました。

1989年 台湾生まれ

2016年 ヒコ・みづのジュエリーカレッジ 卒業

2016年 JJAジュエリーデザインアワード 第2部門 新人大賞



ピアス・ペンダントセット/Pt950/モルガナイト/ダイヤモンド・トルマリン

山梨県知事賞 / プラチナ・ギルド・インターナショナル賞

Governor of Yamanashi Award / Platinum Guild International Award

「Wine Bowl」

[製作者/応募者] 株式会社 ナガホリ



デザイナー

松村 珠世

Matsumura Tamayo

人間が人間のために飾る造形というものには不思議です。

社会的権威や文化の結晶というだけではない。

日常性と卓越性。綺麗ねという共感。

ワイングラスにうつるワインの影。

空間と空隙のあわいを表現したく、古典的なフープ型ピアス
というものを今に生かしたいと思って、作りました。

1996年 ヒコ・みづのジュエリーカレッジ 卒業

同年 株式会社ナガホリ 入社

2019年 JJAジュエリーデザインアワード 台東区長賞



チョーカー・ブレスレット・ピアス・イヤカフ・チャームセット/K18/ダイヤモンド・スフェーン/
ダイヤモンド

台東区長賞

Mayor of Taito City Award



デザイナー

高橋 里奈

Takahashi Rina

[E-mail]

inoue.jewelry@gmail.com

「軌跡」

[製作者] 高橋 里奈 [応募者] 株式会社 いのうえ

ローマを訪れた際、印象に残った石畳の道。それは文明の発展と共に長い年月をかけて表面がすり減り、うねって湾曲していました。石畳は天気によってその表情を変え、雨の日には艶っぽく、晴れの日にはざらり。ローマで魅せられた様々な変化を3種の質感に仕上げたゴールドで表現しています。歴史と生きる街に思いを馳せて。

1993年 福岡生まれ

2015年 九州産業大学 芸術学部 卒業



リング・ピアス・ペンダントセット/K14YG・Pt900・K18YG/ダイヤモンド・クロチョウ真珠・
レッドスピネル・アルマンディンガーネット/ダイヤモンド・レッドスピネル・シロチョウ貝

日本商工会議所会頭賞

Chairman of the Japan Commerce and Industry Award

「PUSHPIN」

[製作者] カネコ トシヒデ



デザイナー

カネコ ユウキ

Kaneko Yuki

単に着飾るための宝飾品ではなく、身に纏うオブジェをテーマに
PUSHPINという作品を制作しました。

建築的構造や彫刻的造形によるマスキュリンなデザインが職人の技術と融
合することで表現された作品です。

1981年 東京生まれ

2002年 ヒコ・みづのジュエリーカレッジ 卒業

[E-mail]

yukikaneko@nodulejewelry.com



ブローチ/K18/ボルダーオパール/サファイア・ルベライト・アコヤ
真珠・ダイヤモンド・エメラルド

日本真珠振興会会長賞

Japan Pearl Promotion Society President Award

「ときめく心」

[製作者] 江口 愛子・宮川貴金属 (天津 正文)

[応募者] 愛子ジュエリークラフト

もう少しサファイヤとダイヤを入れるか迷いましたがテーマにもとづき日常使いやすいように控えました。

デザイナー

江口 愛子

Eguchi Aiko

[E-mail]

eeaa5@ab.auone-net.jp



ピアセット/SV925・K18GP/淡水産貝

新人大賞 / ゲスト審査員賞 / 日本ジュエリーデザイナー協会会長賞

New Talent Grand Award / Guest Judge's Award / Japan Jewellery Designers Association President Award

「flow of time」

[製作者] 谷戸 星香



デザイナー

谷戸 星香

Tanido Seika

[E-mail]

seika-th@outlook.jp

自然の中の研ぎ澄まされた美を感じられるジュエリーを目指しました。素材であるイケチョウガイは、螺旋形を辿りながら年輪のような成長線を重ねていきます。それは刻々と蓄積してゆく無限の時間の流れを感じることができます。遠くなる時間の中で素材が生まれていく情景を表現しました。

2016年 立命館大学理工学部建築都市デザイン学科 卒業

2021年 ヒコ・みづのジュエリーカレッジ 在学中

新人優秀賞

Award of Excellence for New Talent Prize

「CAVE (洞窟)」

[製作者] 山崎 英子

鉱物の発掘現場である洞窟の、差し込む自然な光と陰の神秘的な光景をイメージしてデザインしました。ゴツゴツした岩や石を表現する為に、パイライトの石を型取りして再現しています。細部のテクスチャーを少し荒々しく表現していますが、全体的に神秘的な洞窟の上品なイメージに仕上げました。



チョーカー・リングセット/SV925・金めっき/めのう・ルチレイテッド
クォーツ・トルマリン/ラピスラズリ・パイライト



デザイナー

山崎 英子

Yamazaki Eiko

1983年 兵庫県生まれ

2004年 大阪成蹊女子短期大学 卒業

2006年 エスモード・ジャパン大阪校 卒業

2015年 エーデル産業 (株) 退職

新人優秀賞 / ジュエリー議員連盟賞

Award of Excellence for New Talent Prize /

Parliamentary Association for Jewellery Award

「とまと」

[製作者] 水越 真子

根っこと水分でとまとの生命をイメージしました。原石に根っこがまとわりつき、栄養や水を頂いて美味しいとまとを生みだしています。水晶をくり返し磨き、みずみずしいとまとを再現しました。根っこの頑張っている姿を見て頂きたく、制作しました。



置物・リングセット/SV925/水晶



デザイナー

水越 真子

Mizukoshi Mako

1999年 静岡生まれ

2021年 山梨県立宝石美術専門学校 卒業

新人優秀賞

Award of Excellence for New Talent Prize

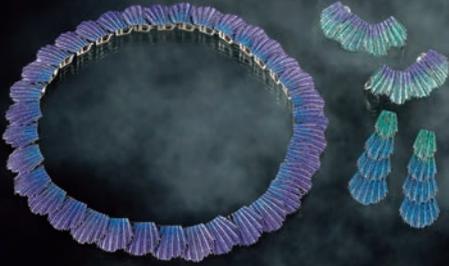
「Jewelbird」

[製作者] 廣野 茜

ハチドリ羽の色は構造色と呼ばれ、私たちの目に見える色は色素によるものではなく、光の反射によって映し出される。その輝きと色彩はまるで宝石のように美しく、実際名前にルビーなどが使用されたハチドリもいるほど。自然が生み出す連続したかたち・パターン、色彩の美しさをジュエリーに落とし込んだ。

1998年 東京生まれ

2021年 ヒコ・みづのジュエリーカレッジ 卒業



ネックレス・ピアスセット/SV925・アルミニウムパウダー・接着剤・
アクリルコーティング



デザイナー

廣野 茜

Hirono Akane

[E-mail]

961.akn@gmail.com



ブローチセット/SV950・銅・赤銅・四分一銅・真鍮

入選

Nominated

「Scale」

[製作者] 金築 賢汰

蛇の鮮やかな鱗の模様とミステリアスな雰囲気をイメージして、空目金を用いてジュエリーを制作しました。

デザイナー

金築 賢汰

Kanetsuki Kenta

[E-mail]

rugby.03130@icloud.com



ブローチ・リングセット/SV950・銅・ステンレス・セラミックコーティング・金めっき

入選

Nominated

「丹花揺らめく」

[製作者] 長屋 さくら

風に揺られる花のように、人の上で軽やかに揺れてほしいと願いを込めました。花卉が動く構造をしています。

デザイナー

長屋 さくら

Nagaya Sakura

[E-mail]

sakura.hgg@gmail.com



チョーカー/Silver925・七宝/カルセドニー・ブルートパーズ/タンザナイト

入選

Nominated

「Stream -夢のかけ橋-」

[製作者] 谷 知子

木漏れ陽を反射しながら流れる清流… 碧く透き通った煌めきを、透胎七宝（プリカジュール）で表現しました。

デザイナー

谷 知子

Tani Tomoko

[E-mail]

tmknmtn@gmail.com



リング/SV925/クォーツ

入選

Nominated

「Gimel -Light & Dark-」

[製作者] 座光寺 渚

光と闇という相反するものがどちらも存在し、結合することで世界が成り立っている。その相補性を、結合の象徴でもあるギメルリングのかたちと動きによって表現しました。

デザイナー

座光寺 渚

Zakoji Nagisa

[E-mail]

n-zakoji6016@st.kyoto-art.ac.jp



ネイルリングセット/SV999

入選

Nominated

「留まるひとひら」

[製作者] 生田 紗弥

蝶が指先に留まった一瞬を形にしたくデザイン。純銀の柔らかな白さや燻し磨きなどメリハリある表情豊かさを表現しました。

デザイナー

生田 紗弥

Ikuta Saya

[E-mail]

sayura.r.38@icloud.com



ブローチセット/Silver925

入選

Nominated

「ヒトリヒトリ」

[製作者] 森野 溪登

コロナ禍で鮮明になった社会の歪みや矛盾を広げる資本主義社会。『この社会でいいのか』疑問とメッセージを込めた。

デザイナー

森野 溪登

Morino Keito



バングル/SV925/CZ/CZ

入選

Nominated

「目が回る」

[製作者] 山田 幸

psychedelicの歪み、パワフルさをイメージし、どこか奇妙で動き出しそうな形状で仕立てました。

デザイナー

山田 幸

Yamada Sachi



バッグ・チョーカー・イヤークラフセット/SV925/ブラックオニキス

入選

Nominated

「DEEP NAILS (深爪)」

[製作者] KOIZUMI KANA

私にとってジュエリーは装いと曖昧なもの。
私らしく、あなたらしく。
まずは、「私」を満たしてあげないと。

デザイナー

KOIZUMI KANA

[E-mail]

kana7nanana@gmail.com



ペンダントセット/SV925

入選

Nominated

「Poly³」

[製作者] 水口 雅月

組み合わせるジュエリーをコンセプトに継手をモチーフとし、ペアジュエリーとして使えるデザインしました。

デザイナー

水口 雅月

Mizuguchi Kazuki

[E-mail]

kazu.aaa1@gmail.com



ブローチセット/SV925/淡水産貝

入選

Nominated

「折り貝」

[製作者] 中野 太超

折り紙の「椿」と「蝶」を折っていく過程で生じる折り線に着目し、それを主体としたデザインとしました。

デザイナー

中野 太超

Nakano Taiki



リング/K18/ペリル

入選

Nominated

「atmosphere」

[製作者] 津金 礼奈

石のフォルムと景色を堪能する為透明部分から地金が見えぬよう縫目が無い天女の羽衣のイメージで石を留めた。

デザイナー

津金 礼奈

Tsugane Reina

一般社団法人 日本ジュエリー協会

会 長 小山 藤太

活性化部会

部会長 今西 信隆

デザインアワード委員会

委員長 青木 千秋

副委員長 日笠 祐二

委 員 飯田 孝子

田中 由美

西田 良洋

山崎 裕見子

編 集 一般社団法人 日本ジュエリー協会 デザインアワード委員会

発行日 2021年9月1日

発 行 一般社団法人 日本ジュエリー協会
〒110-8626 東京都台東区東上野2-23-25
TEL (03) 3835-8567 FAX (03) 3839-6599
<https://jja.ne.jp/> E-mail:ja@jja.ne.jp



一般社団法人日本ジュエリー協会